

令和元年度大阪府消防団員安全管理セミナーを開催しました

令和元年6月21日（金）KKRホテル大阪（大阪府中央区）にて、令和元年度大阪府消防団員安全管理セミナー（共催：消防団員等公務災害補償等共済基金、一般財団法人大阪市町村消防財団）を開催しました。

このセミナーは、消防団員の安全管理と健康管理の重要性の認識及び公務災害補償制度の理解を促進し、消防団員全体への普及啓発を図ることを目的に、大阪府内の各消防団長及び消防団の事務担当者を対象に隔年行われています。

今回は、消防団員等公務災害補償等共済基金指導員 清水 武 氏を講師に招き、消防団長や事務担当者等82名が参加し受講しました。

参加者からは、「毎年のように消防団員が消火活動等により死亡者が発生している事を知り、危険因子を取り除く必要性を考えさせられました。」「日頃の訓練時などから団員の体調の異変を察知し、休憩を与え、指差し呼称や団員同士の意思疎通、情報共有を徹底させることで、今後の活動の発展、向上に活かしていきます。」「安全管理の重要性を学びました。特にポンプ操法訓練での公務災害が多く、災害時以外は事前の健康確認や準備が出来る為、しっかりとチェックを行い、公務災害を減らしていかなければならないと思いました。」「各団員の安全確保については確実に行わなければいけない為、指差し唱和やS-KYTの訓練を指導していきたいと思えます。」などの感想が聞けました。

[セミナーの様様]

